

令和4年度 横浜氷取沢高等学校 不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 項目・目標別実施結果

項目	目標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上	公務の内外を問わず教育の専門家としての自覚、意識を高め、教職員としてのアイデンティティを確立する。	○職員会議、朝の打合せ等、様々な場面で職員への注意喚起を継続して行った。 ○管理職による個別面談を実施し、特に経験年数の浅い職員への不祥事防止の意識を醸成した。 ○毎月、不祥事防止研修会を実施し、啓発資料で自己点検を実施し、自身の行動の振り返りの機会とした。
職場のハラスメント未然防止	職員の職務能力、意欲等の向上と信頼関係のある職場環境を維持する。	○パワハラ防止指針等の趣旨を踏まえ、職場のハラスメントに対する意識の向上を図った。 ○職員個々の強みを活かす業務分担に努め、職員の意欲向上につなげた。 ○職員が気軽に相談できる職場環境を維持することができた。
わいせつ・セクハラなどの未然防止	わいせつ・セクハラ行為に対する認識を深め、人権意識を高める。	○生徒との適切な連絡方法を徹底し、SNSの使用の厳禁を徹底できた。 ○生徒指導の複数対応、生徒の人権に配慮した対応が徹底できた。
体罰、暴言等の不適切指導の未然防止	生徒の人権に配慮した適切な生徒指導を行い、体罰や不適切指導を未然に防止する。	○生徒への身体的接触を厳に禁じ、日常の言動に対し、身体的・心理的体罰について強く意識し、人権意識を持った生徒対応を徹底した。 ○生徒、保護者との丁寧な対応に努め、学校と家庭との信頼関係のある関係づくりを行った。
入学者選抜、成績処理及び進路関係書類等の適切な取扱い	正確で公正な選抜業務や成績処理を行う。また、関係書類の発行に係る適正な事務処理を徹底する。	(入学者選抜) ○業務の特殊性、重要性に対して高い事故防止の意識をもって臨んだ。 (成績処理等) ○成績処理マニュアルに基づいて、複数による点検等、組織的なチェック体制で業務にあたった。
個人情報管理・情報セキュリティ対策	個人情報管理の意識向上を図り、情報セキュリティ対策を講じて紛失・漏洩等の未然防止を図る。	○個人情報の原則持ち出し禁止を徹底した。 ○個人情報の管理は、暗号化サーバーで適切に扱うことを徹底した。また、パスワードの設定を徹底する等、管理に細心の注意を払った。 ○試験問題、解答用紙等の管理に注意をはらい、シュレッダーの使用禁止等の措置を施し、紛失、誤廃棄等の防止を徹底した。
交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止。交通法規の遵守	法規遵守を徹底し交通事故、飲酒運転を未然に防止する。	○公務、非公務問わず、交通法規の遵守に高い意識で臨み、日常的に啓発資料やチェックシートで点検を行い、事故防止の意識啓発を継続して行った。

業務執行体制の確保	業務執行に係る共通理解・共通認識を深め、業務執行体制に係る事故の発生を未然に防止する。	○「報告」「連絡」「相談」を習慣づけ、組織として対応する行動様式を徹底した。 ○事故事例等を活用して職員の注意喚起と再点検の機会とした。
財務事務等の適正執行	県費、私費で公正な予算編成と適正な執行を行い、事故を未然に防止する。	○「私費会計基準」「私費会計事務処理の手引」の理解を深め、適切な会計処理に努めた。 ○中間監査、年度末監査を実施し、適切な執行の点検・確認を行った。

○ 令和4度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和5年度に取り組むべき課題 (学校長意見)

1年を通して、全職員で事故・不祥事根絶に向けて組織的に取り組むことができた。毎月、不祥事防止研修会を実施し啓発資料を用いて、自己の振り返り等の点検作業を行った。教育活動の中で時機に合わせたテーマを扱うことで直近の業務における事故防止に効果的であった。

日常の事故防止の取組として、県教委の通知やニュース報道等をもとに具体的な状況等の説明を加え、事故防止のポイントをわかりやすくするよう工夫に努めた。

個人情報の管理や成績処理、3年生の進路指導に係る調査書等の作成・発行業務においては、マニュアルの確認や必要な見直しを行い、点検作業が組織的となるよう整備し職員全体で意識高く業務に臨む環境を整えた。

職員ストレスチェックの受診を推奨し、97%の受診率を達成した。受診結果を衛生委員会で分析し、職員が健康的に職務に当たられる環境改善に向け課題を整理した。

(令和5年度に取り組むべき課題)

引き続き、わいせつ事案の根絶を最重要課題として位置づけ、県教委の提言に基づく取組を継続する。啓発資料、映像資料等を活用した研修会を実施し、職員の自分事としての認識を一層進めたい。また、経験の浅い採用5年以内の職員や臨時的任用職員、会計年度任用職員等を対象とした研修を実施し、学校全体で課題解決のため当事者意識をもって行動できるよう計画する。職員の働き方改革の一端としての快適な職場環境改善や職員のメンタルケアとしてのハラスメント対策に取り組んでいく。

不祥事防止会議が中心となり、全職員で事故・不祥事根絶に臨み、地域、県民から信頼される学校づくりに向け一丸となって取り組んでいく。